慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	
Jtitle	新版 窮理図解 No.29 (2019. 1) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000029-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の本棚

My favorite books

歴史小説で気合い注入

●真田太平記

池波正太郎著。大学の合格発表当日に全 12 冊を買って一気読みした、思い出ある書物。実際、これにはまると試験（今の僕の場合は論文とかグラントとか）なんぞで人間性を判定されてたまるかといった反骨精神に陥る（場合がある）ので、読む際には時期に注意。軽快で引き込まれる文章のお手本としても参考になる。

天才に悩み相談をすると

●ファインマンさん 最後の授業

レナード・ムロディナウ著。「何で食っていくか」は人間の永遠の悩み。研究者は「何を研究するか」で悩む。本書はカルテックの物理学部でポスドクを始めた著者の回想記で、同様に、研究に、人生に、悩む。そして著者はファインマンに相談する。自分の身に重ね合わせつつ、ファインマンの言葉に期待しながら読んだ。

大学人の心の声

●喜嶋先生の静かな世界

森博嗣著。元大学教員ならではの格言多数。自分の研究は単なる自己満足で価値がないのではと悩む卒論生（本書の主人公）に、博士課程の先輩がアドバイスするくだり：「自己満足できたら、それはもの凄く良い状態だね。自分で満足できるなんて、そんな素敵なことはない。それは価値が大ありだ」。

理想的研究

●情報幾何の方法

甘利俊一・長岡浩司著。統計理論、機械学習、制御理論、通信理論、最適化理論などの広範囲の数理工学を、「情報」と「幾何」に基づく統一的な視点で捉え、見通しよく再構築し、新しい方法を与える体系が情報幾何学。その最初の教科書。理系センスが溢れ出る書。こういう研究がしたい。

Why を考える

●物理学対話

砂川重信著。仕事でも勉強でも「なぜそれを行うのか」という動機をはっきりさせて挑むと効率が格段に上がる。このことを問答形式で明快に示す良書。以前、『複素関数論』の本を書いた際、ずいぶん参考にした。日本人は How には強いが Why に弱いと言われる。ハウツー本で溢れかえる昨今こそオススメしたい。